

## 【総 評】

午前試験は、前半のテクノロジ系で計算などの手間のかかる問題が少なく、過去問からの流用も多く見られましたので、解きやすい印象です。マネジメント系・ストラテジ系では、手間のかかる計算問題が若干見られたものの、これらを除くと、比較的答えやすい問題が並んでいました。

午後試験では、今回から問1の情報セキュリティが必須問題となっており、リスク分析の出題でした。類似のテーマが過去に出題されており、難易度は標準～やや易しめです。続く共通問題(問2～問7)では、計算や手間のかかる事例問題が見られ、選択した問題の組合せによっては、時間的難易度が高くなってしまったと思われる。問8のアルゴリズムは、問題文から処理内容を掴めれば、ボリュームもそれほど多くなく、標準的な難易度でした。後半のプログラム言語及び表計算は、COBOL, Java がやや易しく、その他が標準的な難易度であり、言語間で難易度に差が見られました。

総合すると、午前試験は標準的～やや易しめであり、午後試験は必須問題(セキュリティ及びアルゴリズム)の難易度が標準的ですので、選択問題及びプログラム言語の得点が合否の鍵となるでしょう。合格率は厳しかった前回よりもやや上がるのではないかと予想します。

## 【午前】

今回の午前試験の出題内訳は以下のとおりです。

内訳	テクノロジ系：50問
	基礎理論：8問
	コンピュータシステム：14問
	技術要素：23問
	開発技術：5問
	マネジメント系：10問
	ストラテジ系：20問

午前前半のテクノロジ系は、計算などの手間のかかる問題が少なく、リファクタリングなどの新用語も少なめであり、過去問からの流用が多く見られましたので、解きやすい印象でした。また今回から情報セキュリティの出題数の増加が予想されていましたが、予想通り出題数は10問と、従来と比べて2問ほど増えています。情報セキュリティでは今後、この出題数が維持されていくと考えられます。後半のマネジメント・ストラテジ系では、既知のエラー、エスクローサービス、テザリングなどの新用語が見られますが、数は少なめです。また手間のかかる事例や計算問題が数問見られますが、FEの知識で十分に解答できる標準的な問題がほとんどであり比較的取り組みやすかったと思われます。

午前全体で見ると、テクノロジ系が解きやすく、マネジメント・ストラテジ系が標準的でしたので、全体的には「標準～やや易しめ」の難易度といえるでしょう。

## 【午後】

午後試験の前半においては、必須問題(問 1) 及び選択問題(問 2～7)では、次の分野から出題されました。なお、選択問題で初めてデータベースが出題されませんでした。

- 問 1：情報セキュリティ
- 問 2：ハードウェア
- 問 3：ソフトウェア
- 問 4：ネットワーク
- 問 5：ソフトウェア設計
- 問 6：プロジェクトマネジメント
- 問 7：経営戦略・企業と法務

今回の試験から、問 1(情報セキュリティ)が必須問題となり、リスクアセスメントをテーマとした出題でした。提示されていた表の数は多いものの、それほど複雑さは感じられず、過去に類似のテーマでの出題があったため、解きやすい問題といえます。

選択問題では、ケーススタディや計算など手間のかかる問題が多いという印象をもちます。各問ごとの難易度はそれほど高くはないのですが、手間や時間を要する分、時間的難易度は高めです。特徴的なテーマをいくつか挙げてみると、問 2(ハードウェア)は定番の機械語命令の出題でしたが、複数のアドレス指定方式が含まれており、過去の類似問題と比べると解くのに時間を要します。問 3(ソフトウェア)は並列処理をテーマとした問題が初出題されました。擬似言語のプログラムが提示されており、一見すると難解そうですが、実際に解いてみると意外と解き進めることができたのではないのでしょうか。問 5(ソフトウェア設計)は、システム統合を扱った問題です。ソフトウェア設計では、ファイル処理や UML といった定番テーマ以外に、テスト技法やシステム統合のような新しいテーマを出題してきており、工夫が見られます。ボリュームがやや多めであり、解くのに時間を要する印象です。

問 6 及び問 7 は、ファンクションポイント法による工数見積り、アローダイアグラムによる作業計画の問題であり、一見すると、どちらもマネジメント系の問題といった印象を受けます。特に問 7 は作業量が多く、時間を要するため、共通問題トータルでの時間超過に要注意です。

必須問題のアルゴリズム(問 8)は、配列を記憶領域に見立てて空き領域管理を行うプログラムが出題されました。問題ボリュームが多めであり、領域の始点、終点の組合せを配列に登録する箇所などの表現が紛らわしいですが、処理内容さえ把握できれば、プログラム構造がシンプルですので、解答はしやすかったでしょう。ただし、間違いやすい箇所も含まれており、トレースや図解を活用して考えたかがポイントとなるでしょう。

後半のプログラム言語及び表計算は、COBOL, Java が易しく、その他は標準的な難易度ですが、問 13(表計算)では、後半のマクロが長め、かつトリッキーであり、要注意でした。

午後全体では、必須問題の 2 問が標準～やや易しめで得点差がつきにくいいため、選択問題及び後半のプログラム言語の得点が重要といえるでしょう。さらに共通問題では時間的難易度が高めであったため、アルゴリズムや言語を含めた時間配分の良し悪しが、合否の鍵を握るものと考えられます。

## 【予想配点】

### 【午前】

各 1.25 点

### 【午後】

問 1 (配点 12 点)

設問 1 3 点

設問 2 3 点

設問 3 a, b—各 3 点

問 2 (配点 12 点)

設問 1 2 点

設問 2 a～d—各 2.5 点

問 3 (配点 12 点)

設問 1 a—3 点

設問 2 b～d—各 2 点

設問 3 3 点

問 4 (配点 12 点)

設問 1 3 点

設問 2 a～c—各 3 点

問 5 (配点 12 点)

設問 1 a, b—各 2 点

設問 2 c～f—各 2 点

問 6 (配点 12 点)

設問 1 a, b—各 3 点

設問 2 c～e—各 2 点

問 7 (配点 12 点)

設問 1 a, b—各 1 点 c—2 点

設問 2 d～f—各 2 点

設問 3 2 点 (完答)

問 8 (配点 20 点)

設問 1 a, b—各 2.5 点

設問 2 c～e—各 2.5 点

設問 3 f～h—各 2.5 点

問 9 (配点 20 点)

設問 1 a～d—各 3 点

設問 2 e, f—各 4 点

問 10 (配点 20 点)

設問 1 a—2 点, b～d—各 3 点

設問 2 e～g—各 3 点

問 11 (配点 20 点)

設問 1 a～f—各 3 点

設問 2 2 点

問 12 (配点 20 点)

設問 1 a, b—各 3 点

設問 2 3.5 点

設問 3 c～e—各 3.5 点

問 13 (配点 20 点)

設問 1 a—3 点, b, c—各 3.5 点

設問 2 d—4 点, e, f—各 3 点

以上